

2020年12月25日

ご参考資料

楽読
(ラクヨミ)Vol.
1,666Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

大きな潮流を見定めて行なう長期投資の手法 ～イノベーションをとらえる投資～

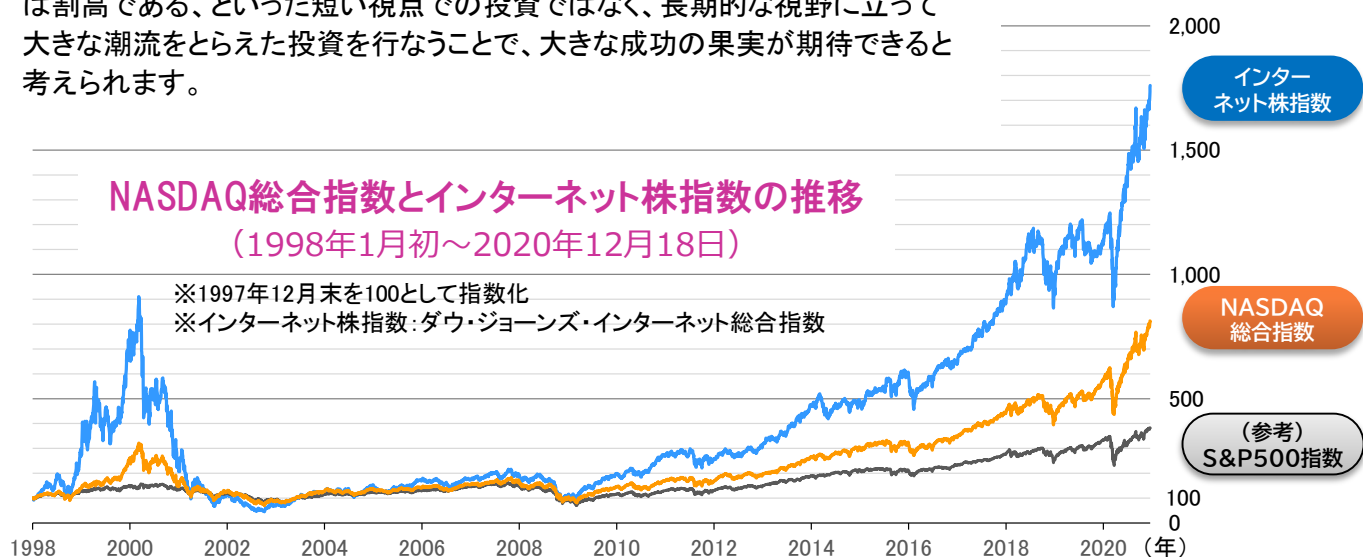
新型コロナウイルス感染拡大の防止を目的とした行動制限などを受け、テレワークやフードデリバリーなどの新たなサービスが急激に拡がり、こうした事業を手掛ける企業が株式市場で物色の対象となりました。

米国における新興企業の取引市場であるNASDAQ市場は、他の市場と同様に2020年3月にコロナ・ショックで急落した後、世界的に進んだ金融緩和などにより回復基調となりました。同市場には、新型コロナウイルス感染拡大による環境変化を背景に大きく伸びた事業を手掛けるイノベーション企業が多く存在し、こうした企業が買われたことから、同指数は他の米国株指数より大きく上昇し、コロナ・ショック前の水準を大幅に上回っています。

私達の生活様式や社会の在り方を変え得るイノベーションは、新しい夢の技術として登場初期段階で大きく注目を集めますが、その後、人々の熱が冷めるなかで注目が薄れる場合もあります。ただし、その後もイノベーションは、ゆっくりと人々の生活に浸透し、ふと気が付けば当たり前の存在となるような、大きな成長を遂げることがあります。その場合、こうしたイノベーションに関連する企業の株価も人々のイノベーションへの注目度合いや浸透度合いに応じた値動きとなる傾向があります。

これまで、蒸気機関や電気、電話など多くのイノベーションが私達の生活を便利にしてきました。今では当たり前の「インターネット」もイノベーションの一つと言えます。インターネットは1990年代後半から2000年にかけて大きく注目され、その後はあまり目立たなくなりましたが、現在ではインターネットが存在しない生活が考えられないほど浸透しています。下グラフのように、インターネット関連企業の株価は2000年にかけて急上昇したあと大きく崩れ、長く低迷が続き、インターネット・バブルなどと言われました。しかし、関連企業の株価はインターネットの普及が進む中、ゆっくりと上昇し、この20年強で約17倍(1997年末比)となっています。

投資において、こうした成果を獲得するには、注目するイノベーションの普及に対し確信を持ったならば、長期的な視点で投資を行なうことが必要であると言えます。株価が過去の高値を上回ったから、足元の株価水準は割高である、といった短い視点での投資ではなく、長期的な視野に立って大きな潮流をとらえた投資を行なうことで、大きな成功の果実が期待できると考えられます。



(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

※グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。